

# 取扱工事説明書

このたびは、TBC商品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。取付施工手順の際、商品の機能が充分に発揮できるようにこの説明書をよくお読みのうえ、使用条件にそって正しく施工して下さるようお願いいたします。  
また、この説明書は施工完了後に必ずお客様にお渡しください。

## 目次

1.安全上のご注意	1
2.器具の取付け	2
3.施工後の確認	8
4.仕様・寸法図	9
5.構成図	10
6.使用上のご注意(お客様へ)	11

## TBC FLAT SERIES

TABUCHI (水栓コンセント・混合栓)

壁付2ハンドル・埋込・ホース接続

SP(SC)1200S (緊急ストッパー付)  
SP1200SA (緊急ストッパー・ウォータハンマ低減機能付)  
〔SC：逆止弁解除機能・保温材付 / 12.5：スペーサー付〕

SP1200

# 1 安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
※ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。  
※施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、説明書にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。  
又、この取付工事説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で説明しています。

**注意** この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

**禁止** この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。  
**強制** この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## 〈施工前の確認事項〉

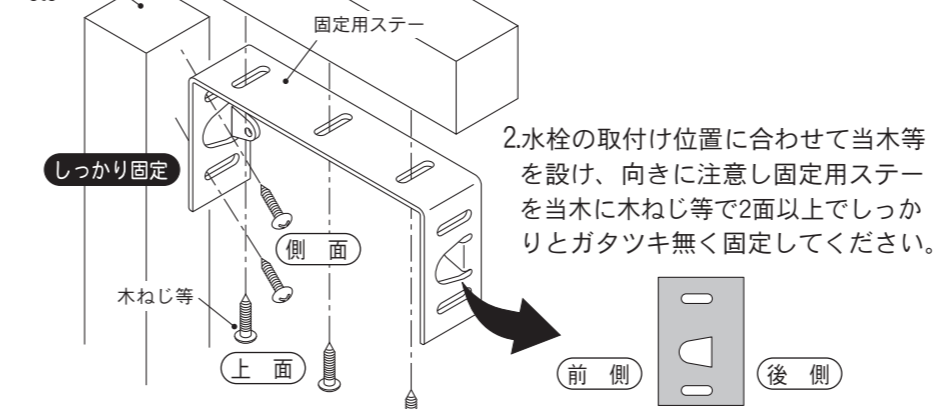
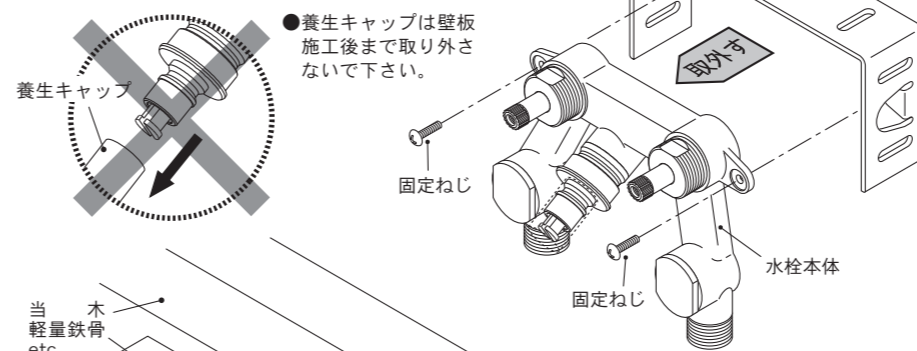
- 注意** 施工前には使用する壁板厚をご確認ください。本商品は壁板厚が9.5mmと12.5mmに対応しております。その他の壁板厚を使用の際は壁面から水栓ボックスの取付位置を調整し、施工してください。
- 壁内空間は40mm以上を確保してください。
- 水栓に接続する配管や継手の経路がボードや下地材等に接触しない事を確認してください。接触する場合は偏芯ソケットを使用したり、下地材の逃げの加工を施してください。
- 凍結が予想される場合には、配管などに凍結防止対策を施してください。(寒冷地にご使用の場合は、SC品番を選択してください。)凍結により器具が破損し、財産損害発生のおそれがあります。凍結による破損は、有料修理となります。長期間使用しないときの急な冷え込みにもそなえて凍結防止(配管内部の水抜き等)を行ってください。

施工の前には、「取扱工事説明書」を熟読し正しく施工してください。また、ご不明な点は弊社担当者と充分打ち合わせの上、実施してください。

# 2 器具の取付け

## 1.水栓ボックスの取付け

1.水栓本体を固定用ステーより取外してください。(水栓本体は左右の固定ねじを外す事で取外す事ができます。尚、出荷時は仮固定をしています。)



- ※木ねじは当たり面が平らなタイプをご使用ください。
- ※固定用ステーは上側、左右側、どちらでも取り付けができます。施工状況により固定面をお選びください。
- ※木ねじは必ず固定面一面につき2カ所以上で固定してください。
- ※軽量鉄骨に固定する場合には固定用ステーと鉄骨の間に当木を設けてください。

## 3.壁板施工(壁板の穴開け)

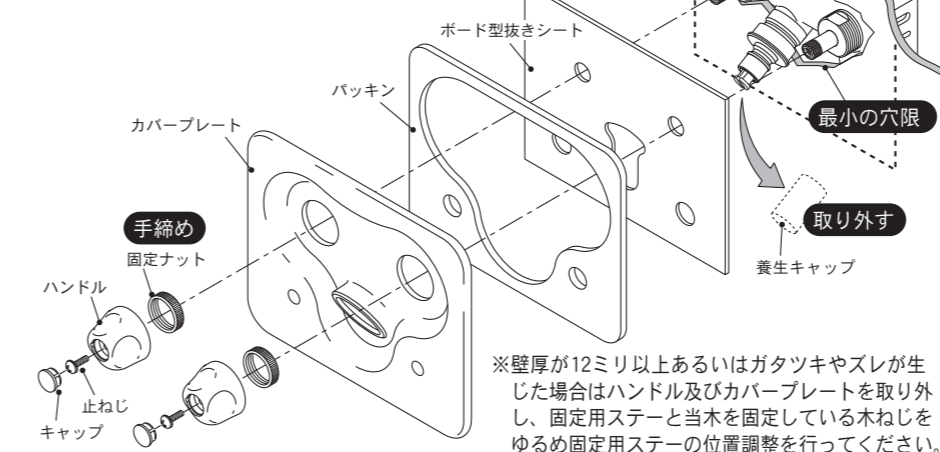
[先付配管の場合(従来配管)/後付配管(さや管工法)の場合1]

壁板施工時に水栓取付けに必要な穴を開けてください。水栓の突起に当たらない最小限の穴を壁板に開けた後、同梱の型抜きシートを使用してガイドラインに沿って穴を開ければ簡単に必要な穴を開ける事ができます。  
●穴の空き過ぎにはご注意ください。●壁板施工前に穴を開ける場合は寸法図を参照してください。

## 4.完了(後付配管の場合は次ページ後、完了作業へ)

[カバープレート及びハンドルの取付け]

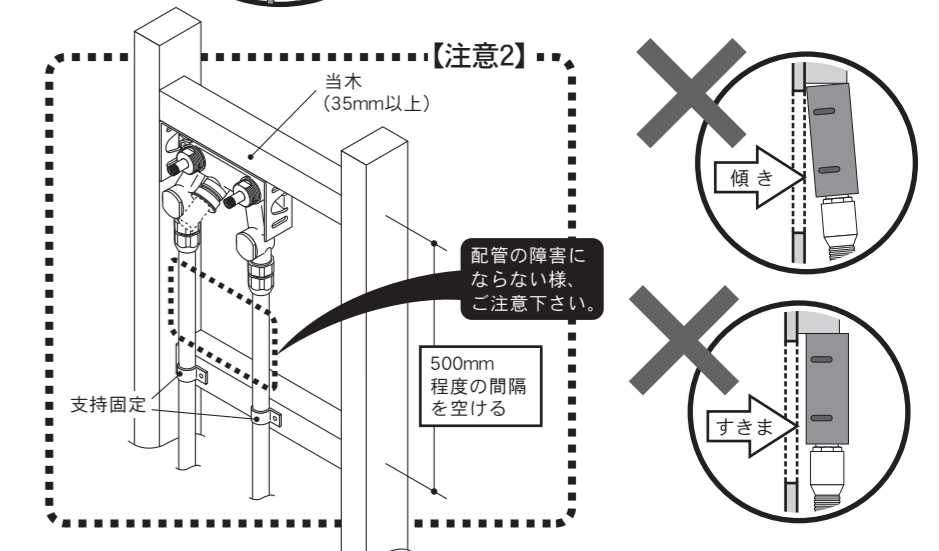
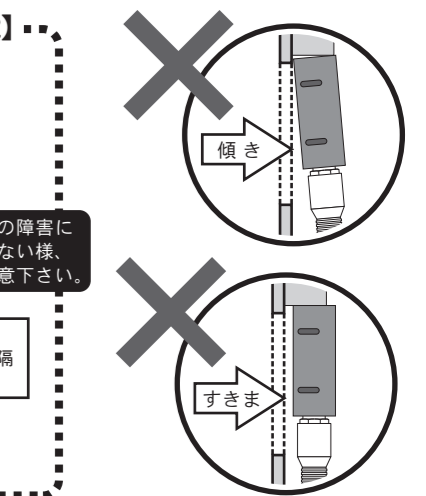
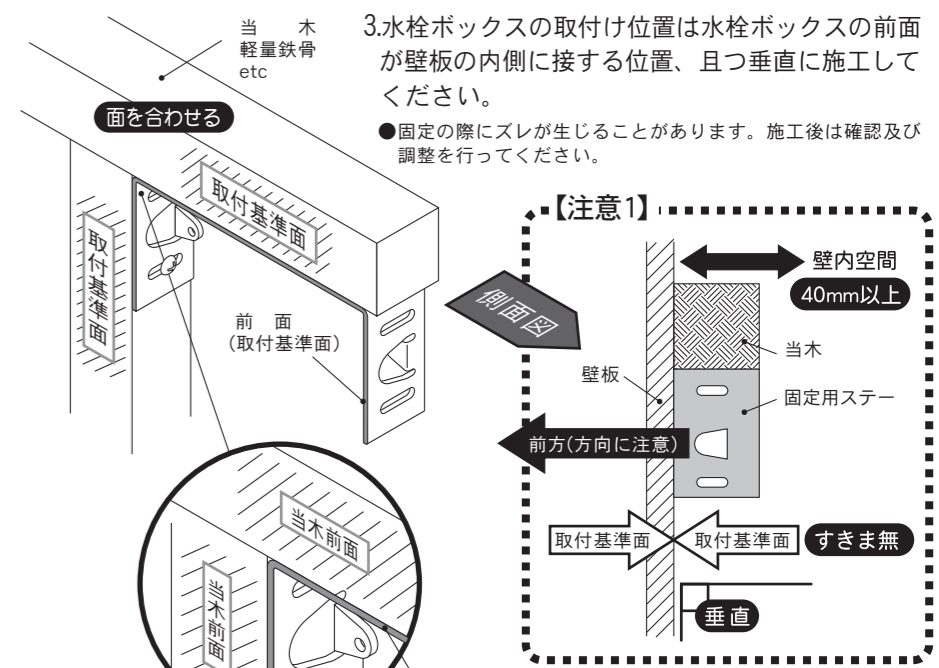
- カバープレートと壁の間にパッキンを挟み、固定ナットを手締めにより締め込んでください。
- カバープレートのズレ、ガタツキが無いことを確認しハンドルをビスで固定してください。



※壁厚が12ミリ以上あるいはガタツキやズレが生じた場合はハンドル及びカバープレートを取り外し、固定用ステーと当木を固定している木ねじをゆるめ固定用ステーの位置調整を行ってください。

## 〈カバープレート取付上の注意事項〉

- 壁板に穴を開ける寸法は必ず、型抜きシート及び寸法図どおりに開けてください。カバープレートの接触や隙間により、美しく取付けができなくなります。
- カバープレートの取付け後、水栓本体のカバー吐水部のつばが完全に露出していることを確認してください。不完全な露出は洗濯機用カブラーホースが接続できず漏水を起こします。



## 〈水栓ボックス取付上の注意事項〉

- 注意** 固定用ステーの当木への固定は必ず2面以上で行ってください。ガタツキにより部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
- 固定用ステーはガタツキがないように堅牢に取付けを行ってください。ガタツキは部材破損の原因となります。
- 固定用ステーの取付け位置は水栓ボックスの前面が壁板の内側にしっかりと密着する位置に施工してください。施工のズレによりカブラーホースが取付けできなくなるおそれがあります。
- 水栓ボックスの取付け位置と配管の支持固定は500mm程度の間隔で固定し、その間配管に障害を与えない構造としてください。配管の影響により水栓ボックスの位置がズレ、正しく洗濯機用カブラーホースが取付けできなくなるおそれがあります。

## 2.管の接続及び本体固定

[先付配管の場合(従来配管)]

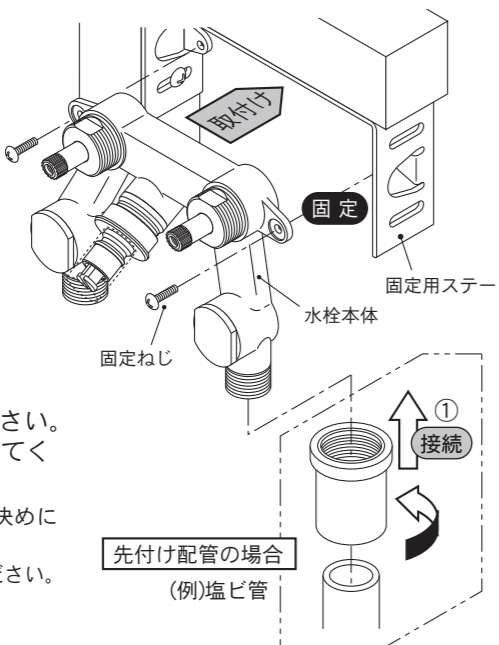
取付け前には必ず通水し、給水管内のゴミ、砂等を完全に洗い流してください。管の接続作業は水栓本体を固定する前に行い、その後水栓本体を固定用ステーに固定してください。ビスは付属の固定ねじをご使用ください。

[後付配管の場合(さや管工法)]

水栓の固定(仮止め)のみを行ってください。樹脂管の接続は3壁板施工の後に行ってください。

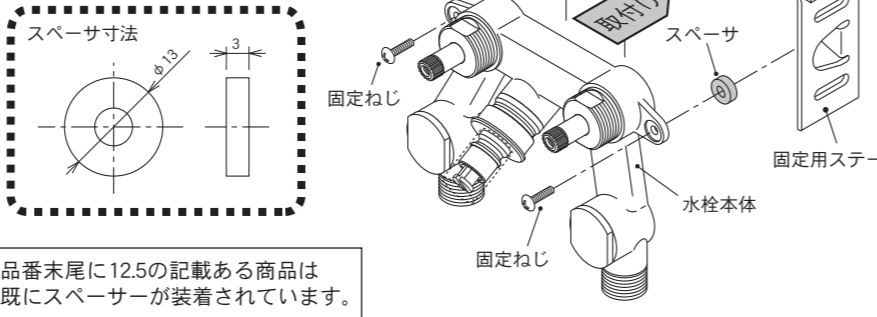
※仮固定は壁板施工後の穴開け作業の位置決めになります。

※配管の状況によっては先付配管を行ってください。



## [壁板厚12mmを使用の場合]

別梱包のスペーサーを使用し水栓本体と固定用ステーの間に挟み込み付属の固定ねじで固定を行ってください。品番末尾に12.5の記載ある商品は、そのままご使用ください。



品番末尾に12.5の記載ある商品は既にスペーサーが装着されています。

## [壁板厚9.5mmを使用の場合]

品番末尾に12.5の記載ある商品は、上記とは逆の要領でスペーサーを取外してください。また、その他の品番商品はそのままご使用ください。

## 〈管の接続時の注意事項〉

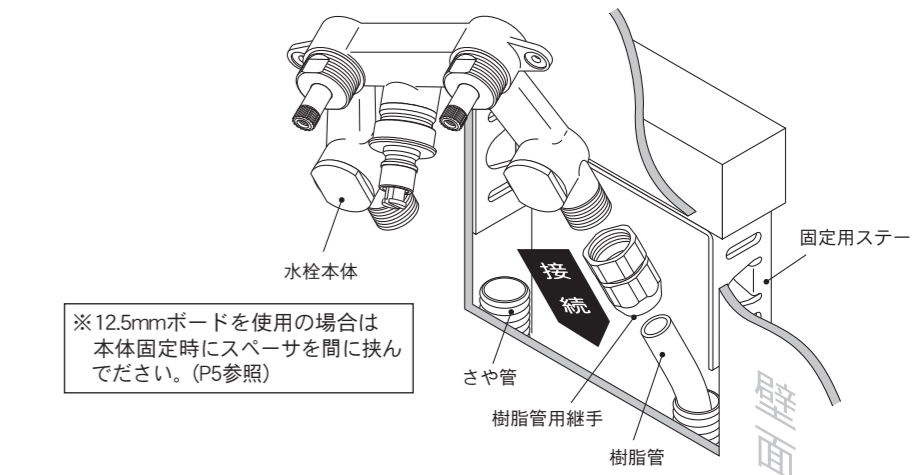
- 管の接続作業は水栓本体を固定用ステーに固定した状態で行わないでください。増し締め等の作業により固定用ステーが破損するおそれがあります。
- 壁板厚寸法の9.5mmと12.5mm時のスペーサー装着の有無にはご注意ください。(上記参照)
- 取付け後の耐圧検査は必ずバルブを閉じ、緊急ストッパーを解除した状態で各部の漏水確認を行ってください。緊急ストッパーの作動による耐圧検査は器具が破損する恐れがあります。注)製品の出荷時はバルブを開いています。

※次工程の壁板施工時までパーツ等を大切に保管しておいてください。

## 管の接続及び本体固定

[後付配管(さや管工法)の場合2]

- 壁板に穴を開けた後、固定用ステーに仮固定されている水栓本体を取外して、さや管内を通管してきた樹脂管の接続作業を行ってください。
- 水栓本体を壁内に押し込み、取外した際のねじで固定用ステーに固定してください。
- 前ページの完了作業に従ってカバープレート等を固定してください。(P6参照)



※12.5mmボードを使用の場合は本体固定時にスペーサーを間に挟んでください。(P5参照)

## 〈寒冷地での取付けについて〉

- 凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

# 3 施工後の確認

## 【ハンドルについて】

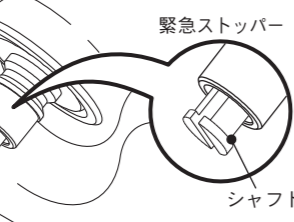
- ハンドルが閉まっている事をご確認ください。
- 緊急ストッパーでも止水は可能ですが、万が一に備えハンドルは締めておいてください。



## 【緊急ストッパーについて】

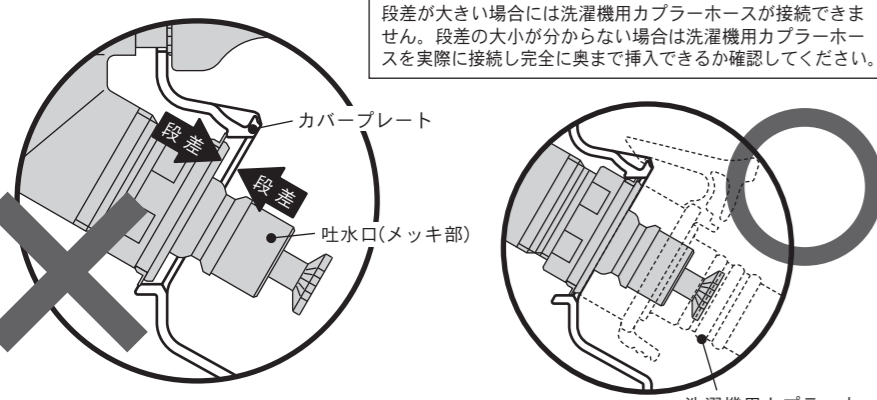
- 緊急ストッパーのシャフトを揺すって吐水口内部の水圧が抜けている事をご確認ください。また、動かない場合は、元栓を閉じハンドルを開いてからシャフト揺すってください。(元水圧が高い場合にはシャフトが固い場合があります。)

緊急ストッパーが固く動かない場合には、使用者側で洗濯機用カプラーホースを接続する際に、戸惑う場合がありますので、必ず緊急ストッパーは解除した状態で引き渡してください。



## 【カバープレートについて】

- カバープレートと吐水口に大きな段差がある場合は、何らかの要因により、水栓ボックス(本体側)の位置がズレています。2器具の取付け(P3)を参考に水栓ボックス(本体側)の位置調整を行ってください。

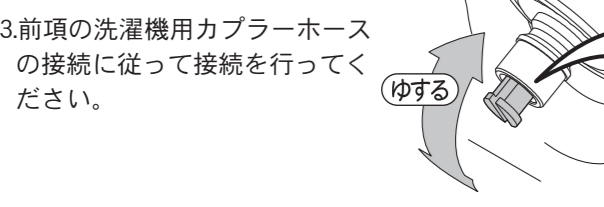


-8- 洗濯機用カプラーホース

## ■洗濯機用カプラーホースが外れた時の対処法

万が一、通水中に洗濯機用カプラーホースが外れた場合には吐水口に内蔵された緊急ストッパーが作動し、水が漏れない構造になっています。再度、洗濯機用カプラーホースを接続する場合は下記の要領に従って解除を行ってください。また、洗濯機用カプラーホースを接続せずに水栓のハンドルを開けた場合にも同様の作業を行ってください。

- 1.水栓のハンドルを右に回して水を止めてください。
- 2.吐水口に溜まった水がこぼれないように吐水口まわりにタオル等を設け、緊急ストッパーのシャフトを手などで揺すってください。(吐水口内部の水圧が抜けます)
- 水圧が高く緊急ストッパーが動かない場合は元栓を閉じ、ハンドルを開いてからシャフト揺すってください。

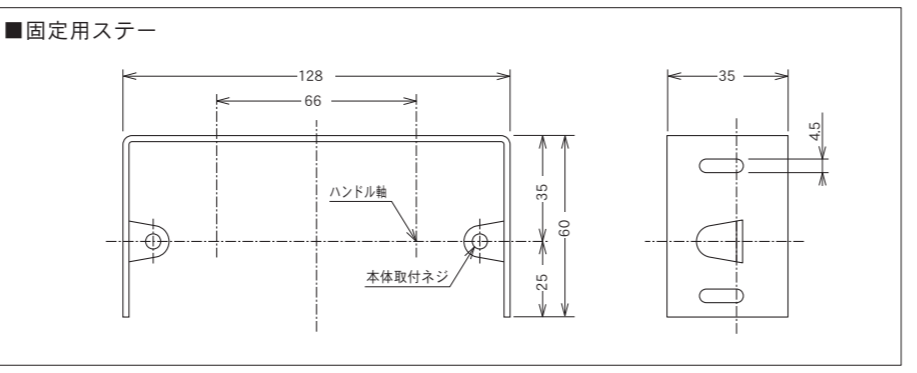
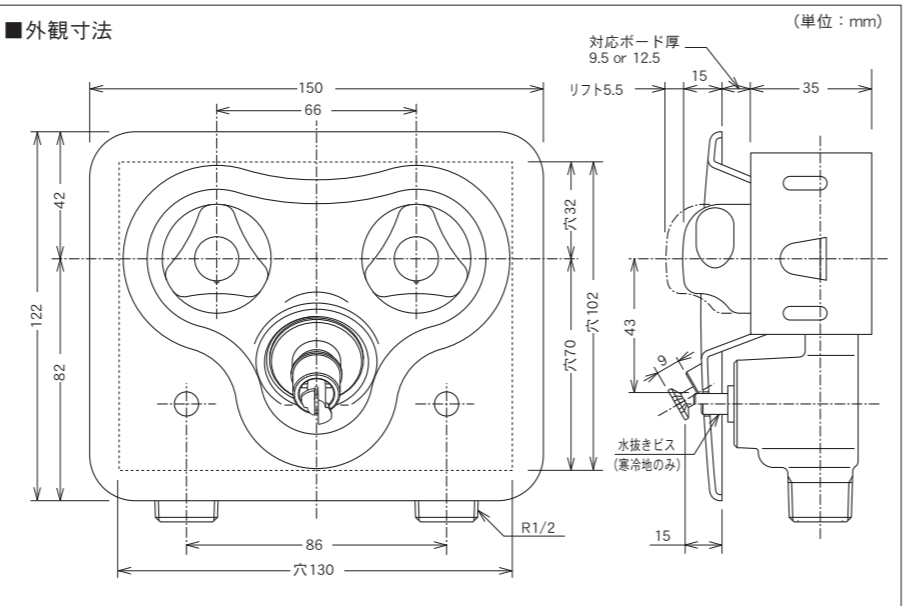


## 〈洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項2〉

⚠ 注意	
!	洗濯機用カプラーホースの接続の際は必ず水栓のハンドルを閉じてから行ってください。水の飛び散り及び部材破損の原因となり、漏水の原因となります。

# 4 仕様・寸法図

SP(SC)1200S	逆止弁・緊急ストッパー	〈仕様〉 使用圧力：0.05～0.75MPa 温度：0～90℃（凍結しない温度） 流体：水道水（井戸水を除く） 〈取付条件〉 壁内空間：40mm以上
SP1200SA	SP1200S同仕様・WH低減機能	
※SC:逆止弁解除機能・保温材付 末尾に12.5:スベサー付		



-9-

## ■洗濯機用カプラーホースが接続できない場合

洗濯機用カプラーホースが奥まで挿入できない。また、洗濯機を作動させるとカプラーホースが抜ける等の不具合が起きる場合は、下記の手順に従って点検してください。

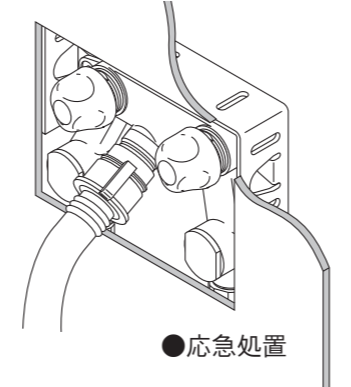
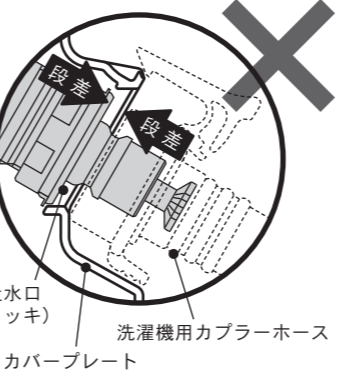
- 【ケース1】 緊急ストッパーのシャフトが固く動かない。  
**対策** 前ページの洗濯機用カプラーホースが外れた時の対処法に従って緊急ストッパーを解除し、カプラーホースを接続してください。
- 【ケース2】 カバープレートと吐水口に大きな段差がある。また、カプラーホースがカバープレートに接触し、奥まで挿入できない場合。  
**対策** 購入先の工事店か当社事業所に依頼し、水栓の取付調整を行ってください。

●応急的に洗濯機を使用される場合は、ハンドルとカバープレートを取外し、水栓本体に直接カプラーホースを接続してください。引っ張って抜けなければ、そのまま使用ください。

- 【ケース3】 上記2点に問題が無い。  
**対策** カプラーホースが規格に適合していない可能性があります。日本電気工業会規格(JEM1206)に適合した洗濯機用カプラーホースをお買い求めください。

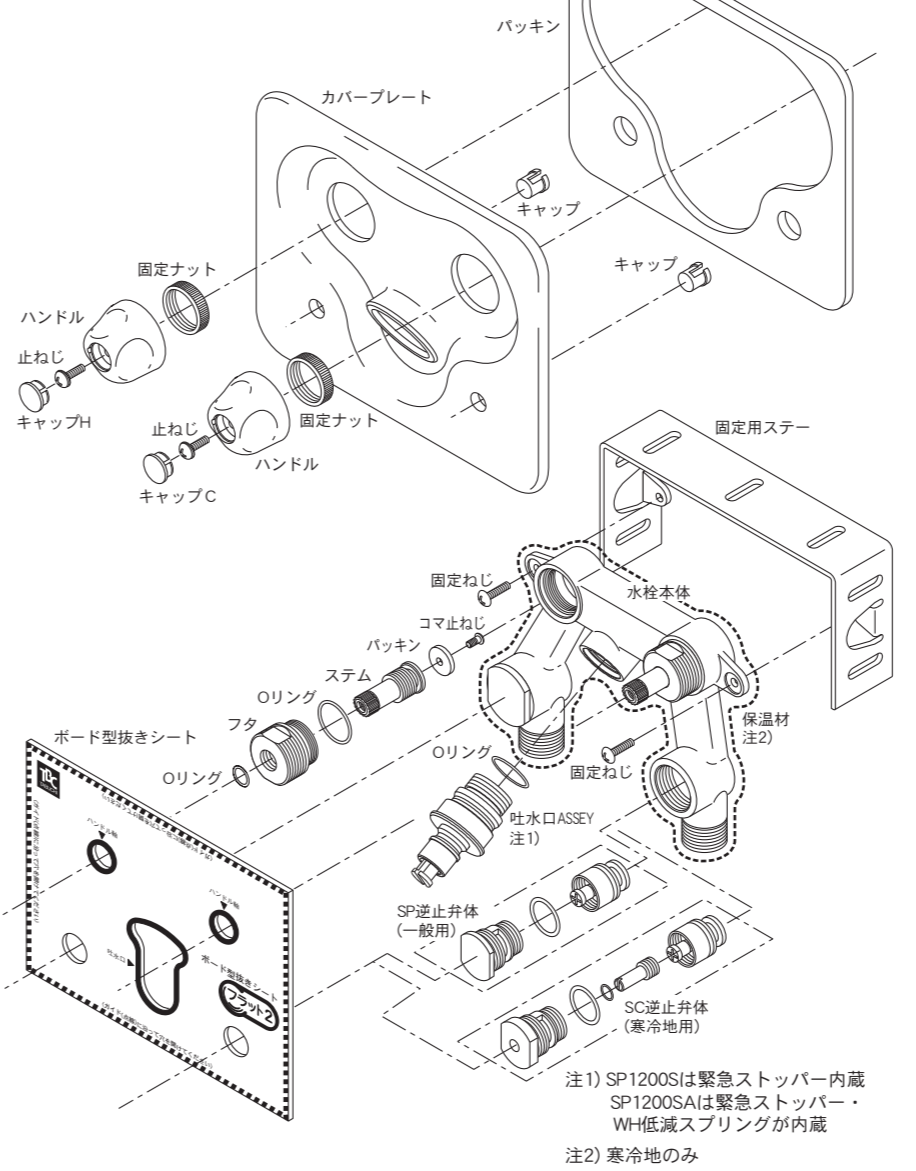
〔適合品番/全自動洗濯機〕	〔適合品番/二層式洗濯機〕
TBC T17-1X-1	TOTO TH277
SAN-EI PT17-1-□	SAN-EI T17-4F
カクダイ 4365-□	カクダイ 7726
ブリジストン BK-H□	

※□はホース長さ



●応急処置

# 5 構成図



-10-

## ■洗濯機用カプラーホース接続後に水がでない場合

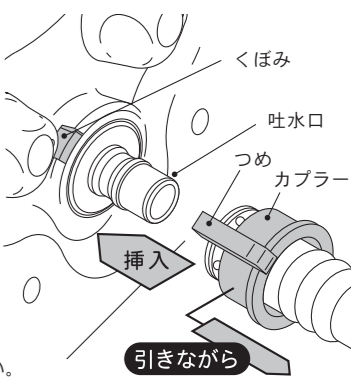
- 【ケース1】 ハンドルが開いていない。▶ **対策** ハンドルを開けてください。
- 【ケース2】 カプラーホースが奥まで完全に装着できていない。  
**対策** そのまま、完全な状態まで装着するか、前項の洗濯機用カプラーホースが接続できない場合に従って接続し直してください。
- 【ケース3】 その他の要因として吐水口内部の逆止弁にゴミかみ等が考えられます。  
**対策** 購入先の工事店か当社事業所に依頼し、水栓のメンテナンスを行ってください。

- お手入れについて  
 水栓器具がいつまでも美しさを保つよう、次の要領でお手入れをしてください。  
 ●普段は柔らかい布に水またはぬるま湯を浸し、よく絞った後よごれを拭き取ってください。  
 ●よごれのひどい場合は中性洗剤をぬるま湯で薄め、浸した柔らかい布でよごれを拭き取ってください。その後、乾いた柔らかい布で磨いてください。

⚠ 注意	
!	酸性洗剤・塩素系洗剤・鉱物性潤滑油・シンナー・ベンジンなどは樹脂部を傷めますので使用しないでください。本製品はカバープレート等に樹脂製品を使用しております。

# 6 使用上のご注意(お客様へ)

- 洗濯機用カプラーホースの接続  
 本製品は規格品の洗濯機用カプラーホースに対応しています。(日本電気工業会規格JEM1206)カプラー部を図のように引きながら、水栓の吐水口に挿入してください。また、カプラーのつめはカバープレートのくぼみへ引っかけてください。接続後はホースを軽く引っ張りホースが簡単に抜けにくいことをご確認ください。  
 ●カプラーが正しく接続できない場合はカプラーの形状が違っておそれがあります。規定のカプラーをお買い求めください。  
 ●カプラーを抜く時はつめを立て上記と同じ要領で抜いてください。



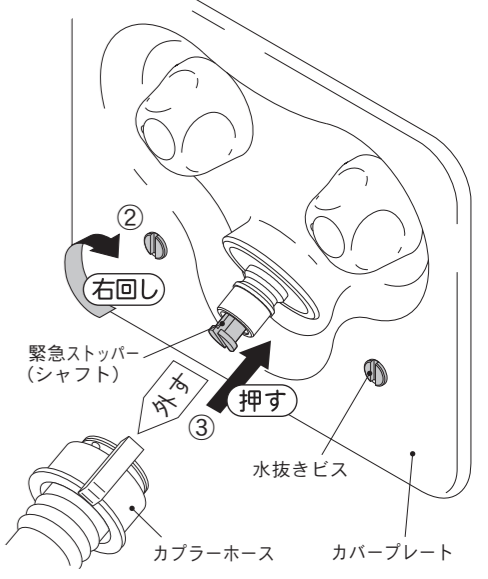
〈洗濯機用カプラーホース取扱上の注意事項1〉	
⚠ 注意	
!	洗濯機用カプラーホースを接続する際は上記図のように正しく挿入してください。強引な挿入により部材の破損が生じ、漏水の原因となります。
!	洗濯機用カプラーホースは必ず日本電気工業会(JEM1206)の規格製品をお使いください。シール不足やホース抜けによる漏水の原因となり、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

〈緊急ストッパー取扱上の注意事項〉	
⚠ 注意	
!	〔緊急ストッパー付の場合〕洗濯機用カプラーホースを接続する際は必ず水栓のハンドルを閉じ、吐水口内の水圧を抜いてから接続してください。水圧により接続ができない場合があります。(方法はP12を参照ください)
!	〔緊急ストッパー付の場合〕万が一、洗濯機用カプラーホースが外れても自動的に漏水を防止する機能を備えておりますが、器具を使用しない時は必ず水栓のハンドルは閉じてください。

-11-

- 寒冷地仕様の水抜き方法  
 (逆止弁解除機能付：SC1200S)  
 寒冷地に使用の場合は水栓内部の溜水を抜くため、逆止弁解除機能を設けています。凍結のおそれがある時期には次の要領で水抜きを行ってください。

- 1.室内配管の元栓を締め、配管中の止水栓(水抜栓)を開けてください。
- 2.カバープレートの左右のビスをドライバー等で右へ回し、ねじ込んでください。(水栓本体の逆止弁の解除が行え、水栓内部の溜水を抜くことができます)
- 3.カプラーホースを外した後、ハンドルを開けた状態で緊急ストッパーのシャフトを数回押し、水栓内部の溜水を抜いてください。
- 4.水抜き終了後は水抜きビスを左に回し、元の位置まで戻し全開してください。



修理の際はお求めの工事店にご依頼ください。なおご不明な点は最寄りの当社事業所までご相談ください。

水と暮らしを結び 商品のお問合せは

## 株式会社タブチ 0120-481-130

〈本社/工場〉〒547-0023 大阪市平野区瓜破南2丁目1-56  
 〈支店/営業所〉札幌・盛岡・仙台・北関東・新潟・千葉・土浦・西関東  
 首都圏・静岡・金沢・名古屋・大阪・岡山・広島・福岡・南九州・沖縄  
 TEL 06-6708-0150(代) FAX 06-6708-0210  
 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)